

令和7年度 3常任委員会合同行政視察報告

令和7年5月30日、宮城県塩竈市を訪問し、災害公営住宅の現状について行政視察を行いました。これは、東日本大震災から14年を迎えた塩竈市において、復興後の地域づくりや住宅政策を学ぶことを目的としたものです。

当日は、鎌田礼二議長、佐藤光樹市長より温かくご歓迎いただき、貴重なご説明を賜りました。

視察の背景

七尾市議会は、平成23年の東日本大震災の際に塩竈市へ直接義援金を届け、支援を行いました。両市は港町としての歴史や水産業、自然景観など多くの共通点を持っています。

令和6年能登半島地震では、塩竈市から給水支援を受け、災害時の相互協力の大切さを改めて実感しました。



日時 5月30日(金)
9:30～11:00

内容：災害公営住宅について
場所：塩竈市役所 3階 委員会室

今回の行政視察は、復興という共通課題を持つ自治体同士の交流を深める貴重な機会となりました。

日時 5月30日(金)
13:50～14:50

内容：風化防止・伝承施設の視察
場所：塩竈市津波防災センター

<施設概要>

震災の記憶と経験を後世に伝えるための拠点として建てられた、宮城県内にある18施設の一つ。

